

戦後 70 年節目の年です。

日本列島と朝鮮半島の間に横たわる歴史問題の根源には、一つは文禄慶長の役（1592-98）に対する認識の違いがあります。日本では「豊臣秀吉の朝鮮征伐」・「朝鮮の役」であり、豊臣秀吉も偉大な「下剋上」の人物として人々に愛好されています。朝鮮半島では「壬辰丁酉倭乱」としての過酷な戦争の記憶と、秀吉は侵略者として印象づけられています。今、400 余年が過ぎましたが、日本国内に残された戦争のつめ痕、文化的影響、戦争により捕えられ連行された被虜人たちの多様な痕跡をたどりつつ「文禄慶長の役」とは何か？を問いなおします。

講演会

日時：10月10日（土）
14:00～16:00

講師：李素玲（いそりょん）

演題：「秀吉の朝鮮侵略」と2人の女性陶工

会場：高麗博物館

参加費：1000 円（入館料含む）

予約制です。下記 高麗博物館へ



〈李素玲 紹介〉

高麗博物館理事 1937 年生まれ

東京大学卒業、同大学院東洋史博士課程修了
東アジア近現代史専攻 韓国・朝鮮文化財返還問題連絡会議メンバー

翻訳：慧門著「儀軌」取り戻した朝鮮の宝物

お知らせ

韓国料理を食べる会

- 日時：9月27日（土）
12:00～14:00
- 場所：レストラン高麗 3 階
- 参加費：2300 円
- テーマ：「秋夕（ちゆ）を
レストラン高麗で」



メニュー

- ナムルの盛り合わせ
- ジョン（チヂミ）盛り合わせ
- カンジャン トッポギ（宮廷料理）
- 伝統餅「ソンプジョン」

秋夕に欠かせない料理ばかりですが、多少変更される場合があります。

- おはなし：「韓国の秋夕料理について」
高麗博物館館長 樋口雄一
「秋夕の食材について」
韓国広場 黄証明
- 予約申し込み
定員になり次第締め切ります
電話：03-5272-3510 高麗博物館

企画展示「400 年前の朝鮮侵略— 文禄慶長の役のつめ痕と文化的影響—」

パネルタイトル（全 29 枚）

- I 「文禄・慶長の役」とは何であるのか
- II 「壬辰倭乱」の実態
- III 連行された人々、渡来文化、焼もの戦争と人さらい戦争
- IV 日本社会における秀吉像と「朝鮮観」

お知らせ

辛淑玉（しん・すご）講演会

日時：9月4日（土）
18:30～20:00

会場：信濃町教会（JR 四谷駅 4 分
丸の内線 四谷 3 丁目駅 8 分）

参加費：1000 円

演題：「日韓会談締結 50 年と
ハイトスピーチ」

予約制 下記 高麗博物館へ TEL ください



電話 03-5272-3510

FAX 03-3207-0533

開館時間 12:00～17:00

休館日 月曜日・火曜日

<http://www.40net.jp/~kourai>

市民がつくる日本とコリア交流の歴史博物館



高麗博物館
고려박물관 KOREA MUSEUM

